

北山文化と東山文化

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

安土桃山

今日の問い

北山文化と東山文化には、それぞれどんな特色があるのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 北山文化

足利義満の文化

あしかがよしみつ
足利義満

室町幕府の3代将軍。京都の北山に金閣を建てた。

きんかく
金閣

足利義満が京都の北山に建てた3層の建物。鹿苑寺という寺にある。

かんあみ ぜあみ
観阿弥・世阿弥

能を大成した親子。足利義満の保護を受けた。

3代将軍の足利義満は南北朝を統一し、幕府の力を安定させた。このころ、京都では公家の文化と武家の文化がまじりあった文化が栄えた。これを、義満が京都の北山に建てた建物の名から

北山文化という。義満が建てた**金閣**(**鹿苑寺**)は、3層それぞれにちがう建築様式を用いた建物である。

義満は日明貿易で大きな利益を得て、陶磁器や絵画などの**唐物**を集めた。こうした富も、北山文化を支える土台になった。

このころ、猿楽などをもとに、歌と舞で物語を表す**能**が、**観阿弥・世阿弥**の親子によって大成された。能の合間には、民衆の生活などを題材にし、ふだんの話し言葉を使ったこっけいな劇である**狂言**も演じられ、身分をこえて親しまれた。

2 東山文化

足利義政の文化

あしかがよしまさ
足利義政

室町幕府の8代将軍。京都の東山に銀閣を建てた。

しょういんづくり
書院造

たたみ・ふすま・床の間などを持つ建築様式。今の和室のもとになった。

せっしゅう
雪舟

墨の濃淡で自然などを描く水墨画を大成した禅僧。

8代将軍の**足利義政**のころには、禅宗の影響を受けた、簡素で落ち着いた趣の**東山文化**が栄えた。義政が京都の東山に建てた**銀閣**(**慈照寺**)と同じ敷地にある**東求堂**の一室は、**書院造**の代表として知られる。

書院造は、部屋いっぱいにとたたみを敷き、ふすまや障子で部屋を仕切り、床の間やちがいの棚を設けた建築様式である。この様式は、のちの武家や町人の住まいに取り入れられ、今の和室のもとになった。

このころ、墨の濃淡で自然や人物を描く**水墨画**が発達し、明にわたって絵を学んだ禅僧の**雪舟**が大成した。庭園では、水を使わず石や砂で山や水の流れを表す**枯山水**の庭がつくられ、**竜安寺**の石庭がその代表として知られる。

文化	将軍	代表的な建物	特色
北山文化	足利義満	金閣(鹿苑寺)	公家と武家の文化がまじる
東山文化	足利義政	銀閣(慈照寺)	禅宗の影響を受けた簡素で落ち着いた趣

問いへの答え

足利義満のころの北山文化は、公家の文化と武家の文化がまじりあったもので、金閣や、観阿弥・世阿弥が大成した能が生まれた。足利義政のころの東山文化は、禅宗の影響を受けた簡素で落ち着いた趣をもち、銀閣や書院造、雪舟の水墨画、枯山水の庭などが生まれた。書院造は、今の和室のもとになった。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

